

# 急がれるコンプライアンス経営の確立と浸透のために！ グループ経営時代の 経営リスクと内部統制 実務講座

～コンプライアンス経営実現に向けた具体的処方箋～

●開催要領●

●日時●2018年 3月8日(木) 10:00～16:30

●会場●企業研究会セミナールーム (東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師紹介

青山学院大学大学院法務研究科 (法科大学院) 教授

弁護士法人早稲田大学リーガル・クリニック 弁護士 浜辺 陽一郎 氏

【浜辺陽一郎氏ご略歴】1961年生まれ。1984年司法試験合格。1985年慶応義塾大学法学部卒業。1987年弁護士登録(第二東京弁護士会)。1995年米国ニューヨーク州弁護士登録。都内の渉外法律事務所等を経て、現職。弁護士法人早稲田大学リーガル・クリニックにおいて弁護士として活動し、多数の企業法務等の弁護士業務のほか、日本経営倫理学会副会長、日米法学会理事、日本内部統制研究会理事等を務める。著書に『執行役員制度—運用のための理論と実務(第5版)』『図解 コンプライアンス経営(第4版)』『経営力アップのための企業法務入門』『スピード解説 民法<債権法>改正がわかる本』『図解 新会社法のしくみ(第3版)』等がある。



<受講者特典: セミナー当日、講師著『図解 コンプライアンス経営(第4版)』をテキストとして配付します。>

●ご参加頂きたい方●

コンプライアンス部門、内部監査部門・法務部門等に所属され、コンプライアンス経営実現に向けた実務について学びたい方

■受講料: 1名(税込み、昼食代・資料代 含む)

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 正会員 | 37,800円(本体価格 35,000円) |
| 一般  | 41,040円(本体価格 38,000円) |

■参加要領

当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間前～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

- \*正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。  
([セミナー・会員研究会]→[よくあるご質問])
- \*お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- \*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承ください。
- \*申込書をご送信頂く際はくれぐれもFAX番号をお間違えないようご注意ください。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局

担当/鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp

TEL:03-5215-3513 FAX:03-5215-0951

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

当会ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

企業研究会 セミナー Q 検索

※書面にてお申込みの場合には下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

|             |                         |            |  |
|-------------|-------------------------|------------|--|
| 171836-0302 | グループ経営時代の経営リスクと内部統制実務講座 |            |  |
| ふりがな<br>会社名 |                         |            |  |
| 住 所         | 〒                       |            |  |
| TEL         |                         | FAX        |  |
| ふりがな<br>ご氏名 |                         | 所 属<br>役 職 |  |
| E-mail      |                         |            |  |
| ふりがな<br>ご氏名 |                         | 所 属<br>役 職 |  |
| E-mail      |                         |            |  |

## ● プログラム ●

3月 8日  
(木)

10:00  
(スタート)

### 第1部 コンプライアンス経営の基本的考え方

- (1) コンプライアンスとは何か
- (2) コンプライアンスに関連する基本的概念の整理
- (3) 「企業倫理」とは何か
- (4) 内部統制とは何か…企業集団の内部統制に関する2つの基本法令

### 第2部 役員の法的責任→取締役の権限と責任

### 第3部 企業不祥事を防ぐために必要なコンプライアンス経営

- (1) コンプライアンス経営の強化が要請される背景～発覚必至の企業不祥事
- (2) 企業集団を取り巻くビジネス・リスク (企業防衛論的アプローチ)
- (3) 不祥事が明るみに出やすい経営環境 (経営環境アプローチ)  
…コンプライアンス経営の確立が急務とされるこれだけの理由  
企業内においてコンプライアンスを推進する論理と説得ポイント
- (4) 企業ブランドとコンプライアンスの関係 (ブランド価値維持・向上アプローチ)

### 第4部 コンプライアンス経営の体制と浸透・実践のしくみ作りと見直し

- (1) コンプライアンス経営実践の基本ステップ  
→経営幹部として押さえておきたい実践ポイントとは
- (2) コンプライアンス経営の基本的考え方…その理念と特徴
- (3) 機能するコンプライアンス体制の要点→5つのポイント
  - ① 担当役員 (CCO) の役割
  - ② 統括部門のあり方
  - ③ 弁護士活用
  - ④ コンプライアンス委員会等の設置
  - ⑤ 従業員全体の意識改革

### 第5部 企業集団における内部通報制度の実効化

- (1) 公益通報者保護法とは
- (2) 内部通報制度を整備・充実するための課題
- (3) 自浄を促し、有効に機能させるための設計上の工夫・留意点
  - ① 通報は権利か義務か
  - ② 通報の対象
  - ③ 通報窓口をどこにするか
  - ④ 対応担当者の独立性
  - ⑤ 透明性の高いルール作り
  - ⑥ 社内研修の活用
  - ⑦ フィードバックのあり方
- (4) 受付と対応⇒対応のあり方が、より重要!
- (5) 内部通報者の保護、社内リニエンシーの考え方

### 第6部 社内規程等の整備

- (1) 「社内規程」や「企業行動規範」作成の意義
- (2) 規程整理のポイント
- (3) 規程策定上の留意点→何を定めるか
- (4) 社内規程の要点と利用法
- (5) 問題は当然に生じることがあり得るという前提が必要

### 第7部 不正・トラブルが起きた場合の危機対応→問題対応の重要ポイント

- (1) 客観的事実の掌握
- (2) 情報収集
- (3) 証拠確保
- (4) コミュニケーション
- (5) 説明・公表
- (6) トラブルが生じてからの対応 (コストとダメージ)

### 第8部 コンプライアンス経営成功の条件→まとめのチェックポイント

- ・ 既存の体制をフル活用
- ・ 臨機応変に
- ・ 従業員全体の参加意識を
- ・ 戦略的に積極的に
- ・ 業務効率化/合理化と企業価値の向上に結び付ける

12:00

昼食タイム

13:00

午後 途中  
休憩タイム  
あり

16:30  
(終了)